

# ねり香水をつくろう

—炭化水素の化学—

岡山県立津山高等学校

南 洋明

## ● どんな実験なの？

香水はふつう液体ですが、固体のねり香水とよばれる香水があります。基本的な成分はハンドクリームやリップクリームに似ています。これらの主な成分は、石油からとりだした炭化水素の「ワセリン」や天然素材の「植物オイル」、ミツバチの巣からつくる「ミツロウ」で、それらを混ぜて、よい香りの成分を加えてつくります。ワセリンだけではベタベタしますので、ミツロウを適量まぜて、ベタベタしないものをつくります。

## ● 実験のしかたとコツ

### (1) 用意するもの

白色ワセリン、ミツロウ、軟膏容器、香料、つまようじなど

### (2) ねり香水の作り方

- ①ワセリンとミツロウを温めながら混ぜて融かします。
- ②軟膏容器に香料を適量入れます。
- ③融けたワセリンとミツロウの液体を容器に入れて、つまようじで混ぜます。
- ④素早く混ぜたら、冷めるまで待ちましょう。

### (3) ねり香水の使い方

- ①指でねり香水を適量とります。
- ②手首など、香水をつけるところに塗りつけてのばします。



## ● 気をつけよう

- ・融けたワセリンとミツロウは熱いので火傷しないように注意しよう。
- ・ワセリンとミツロウは肌にはやさしいものですが、香料が肌に合わない場合は使うのをやめるか、肌に直接ふれない場所に使いましょう。

## ● もっとくわしく知るために

- ・ワセリンは炭素と水素からできている炭化水素と呼ばれる物質です。特に炭素数の多い炭化水素がワセリンの成分です。
- ・ワセリンは石油からつくられ、不純物を取り除くと安全で医薬品に使われます。ドラッグストアで購入ができます。
- ・ミツロウはミツバチの巣から取り出されるロウの一種です。ハンドクリームやろうそく、クレヨンなどに使われています。
- ・ミツロウの割合を少なくするとやわらかくなり、多くすると硬くなります。
- ・ワセリンの代わりにホホバオイルを使うこともできます。